

特集

純真学園大学の地域連携について

小野 英生

純真学園大学 事務局長

Regional Cooperation of Junshin Gakuen University

Hideo ONO

General Manager, Administration Bureau of Junshin Gakuen University



小野 英生

はじめに

平成23年度に開学した純真学園大学は、福岡県福岡市南区筑紫丘の住宅街に囲まれた小高い丘の上にあり、福岡市中心の天神地区から西鉄電車で約5分の大変交通アクセスが良い地域に立地している。

本学の建学の精神は学園訓でもある「気品・知性・奉仕」を掲げ、都市型の保健医療系大学として開学後8年目を迎えようとしている。保健医療系専門大学として1学部4学科（看護学科，放射線技術科学科，検査科学科，医療工学科）を有し，4学科が合同で行う学科横断型カリキュラムとして1年次から4年次まで段階的に多職種

連携教育を行っていることが大きな特色である。

開学後から本学は、保健医療系専門大学として地域に貢献すべく、下記のような「健康保健関連分野での地域貢献活動」を行っている。

毎年夏に開催している高校生や中学理科の先生を対象とした「サイエンスキャンプ」、ボランティアサークル「クリーンアップ」が中心となっている駅周辺の清掃活動、西鉄大橋駅西口広場を会場とした本学独自のイベント「健康フェスティバル」、南区役所や公民館を通じ地域住民の方々を対象とした「公開講座」、最先端の研究を行っている講師を招聘した「学術講演会」、その他「ママとパパのための育児体験教室」等、規模の大小はあるが様々な活動を行っている。

これら地域密着型の貢献活動に加え、福岡市南区を中心とする各行政機関やその他団体と防災関連協定や包括連携協定を締結している。今回は本学と地域団体との連携協定を中心に述べる。

1. 福岡市南警察署との連携協定

平成27年11月に福岡市南警察署から、地震や津波などの大規模災害時に南警察署の施設設備が機能停止した場合、南区筑紫丘の高台に立地する本学のグラウンド、体育館、講義室等を南警察署の指令本部として一時的に借用したいとの申し出があった。

その後、「大規模災害時における純真学園施設の使用に関する協定」を南警察署との間で締結した。協定締結後、既に衛星通信を活用した福岡県警本部と本学施設との間で情報通信テストを実施し、大規模災害時に警察本部から本学に設置されることになる災害対策本部までの通信が実施できることが確認された。



<南警察署との協定締結調印式>

平成30年2月28日

純真学園大学 大学事務局 事務局長

2. 福岡市南区との連携協定

平成28年12月には、「福岡市南区大学連絡会議構成校と福岡市南区との連携に関する協定」を締結した。福岡市南区大学連絡会議構成校とは、福岡市南区に立地または南区で活動する7大学（九州大学大学院芸術工学研究院・大学院芸術工学府及び芸術工学部、香蘭女子短期大学、純真学園大学、純真短期大学、精華女子短期大学、第一薬科大学、福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部）である。

この協定は、7大学と南区が包括的な連携のもと、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら幅広い分野で協力し、地域及び大学の相互発展に寄与することを目的とし、共働事業や南区のまちづくりの推進に関する事、学生による地域活動に関する事などについて、連携を進めるものである。

この連携に至った経緯は、南区役所で定期的開催されていた「南区大学連絡会議」に本学と併設の純真短期大学から担当者が出席し、地域で計画されているイベントその他の情報交換を積極的に行っていた。この南区大学連絡会議構成校からの発案により下記のような連携事項を中心に当連携協定の締結に至った。

【連携事項】

- (1) 連携機関が有する様々な資源（人材、知的財産、施設等）の相互活用に関する事
- (2) 連携機関が共働で実施する事業に関する事
- (3) 南区のまちづくりの推進に関する事
- (4) 学生による地域活動に関する事



<福岡市南区大学連絡会議構成校と福岡市南区との協定締結調印式>

また、各大学は専門分野、学科構成、特色等が異なるので、各大学個別に南区との間で連携・協力事項について、実施細目を記した「純真学園大学と福岡市南区との連携協定書に関する覚書」を締結した。

【実施細目】

- (1) 保健医療、健康増進、栄養に関する事（生活習慣病予防、高齢者福祉、食育等）
- (2) 健康福祉の推進に関する事
- (3) 生涯学習に関する事（市民向け公開講座、講演会、出前講座など）
- (4) 環境保全に関する事
（リサイクル、環境美化活動、自然を活かしたまちづくりなど）
- (5) ボランティア活動に関する事

3. 連携協定イベント「南区大学マルシェ」

平成29年9月には、この福岡市南区と7大学合同の連携協定締結を記念して、地域の方々に楽しんで頂けるイベント「南区大学マルシェ」を西鉄大橋駅西口広場で合同開催した。

各大学の学生が地域活性化の担い手となって、グルメ屋台や小物づくりを体験できる子ども向けのワークショップ等を出展し、来場者と交流を深めながら学生の若いパワーで地域を盛り上げることがで

きた。本学からも学生や教職員が参加し、血圧測定や腹部エコー検査等の体験イベントを実施したくさんの来場者で賑わった。

このイベントは「熊本復興応援イベント」としても位置付けられており、大学ブースの売上金は、熊本地震・九州北部豪雨の災害義援金として全額寄付された。



<連携協定記念イベント「南区大学マルシェ」>

4. 福岡市南区との大規模災害時における連携協定

先に述べた南警察署と締結した連携協定と同様に、さらに福岡市南区との間で「大規模災害時における純真学園施設の使用に関する覚書」を締結した。

福岡市南区及びその周辺地域において大規模災害が発生し南区役所の施設機能が著しく失われた際に、本学園施設に南区災害対策本部を移転させることにより南区における災害対応業務の円滑な遂行を図ることが目的である。



<大規模災害時における純真学園施設の使用に関する覚書の調印式>

5. 純真学園大学「健康フェスティバル」

「南区大学マルシェ」は福岡市南区と7大学の合同開催地域連携イベントであったが、先に述べたとおり、本学は保健医療系専門大学として地域に貢献すべく、規模の大小はあるが様々な健康保健関連分野の地域貢献活動を行っている。

そのうち「南区大学マルシェ」と同様に西鉄大橋駅西口広場を会場とした本学独自のイベント「健康フェスティバル」を紹介する。

健康フェスティバルは毎年10月に開催し、地域の方々に健康管理の大切さを呼びかけることを目的に、本学の4学科それぞれの特徴を生かした下記のような健康測定、検査、アドバイス等を実施している。

測定・検査内容	身長・体重, BMI, 血圧, 骨密度, 血管年齢, 頸部エコー等
体験・デモ	AED, 心臓マッサージ等
相談・アドバイス	食生活チェック, 測定結果をもとにしたアドバイス等



<健康フェスティバルでの健康測定の様子>

南区役所や地域の公民館に配布したチラシや本学からの案内を見て来た方、電車の駅を降りて帰る途中の方等、地域の様々な方がイベントブースに立ち寄り健康測定を受けたり、健康に関する相談を熱心にされていた。

6. 福島県双葉郡広野町との連携協定

最後に福岡から遠方ではあるが、本学は平成23年の福島第一原子力発電所事故により飛散した放射性物質が残存する福島県双葉郡広野町と、平成29年1月に「放射性物質の測定及び人体・環境への影響調査及び連携協力に関する協定」を締結した。



<放射性物質の測定及び人体・環境への影響調査及び連携協力に関する協定締結調印式>

当協定締結に至るには、本学放射線技術科学科、新井正一教授が平成23年8月より広野町放射性物質除染アドバイザーとして同町の除染に協力、本学看護学科教員、検査科学科教員、学生とともに現地を訪問して調査研究を行っている経緯がある。

おわりに

本学は地域に密着した様々な活動を行っているが、まだまだ十分とは言えない。平成30年4月には本学に待望の大学院を開設する。高度化する医療現場で、本学大学院を修了する専門家を輩出し指導者・管理者として、地域のみならず全国、世界で活躍する高度医療専門家を育成する。

今後も地域、福岡市、福岡県等の行政機関やその他地域団体との連携を強めるよう積極的な情報発信を行っていく。